

みんながにこにこ ステップアップ大きくせん
ーぼく・わたしもできるよー

本単元で育成する資質・能力

適応力, 探究力, 主体性・向上心

◇ 日 時 令和4年10月19日(水) 5校時

◇ 学年・組 第1学年 1組 26名

単元について

◇単元観

本単元は、小学校学習指導要領生活には以下のように位置付けられている。

(2) 家庭生活に関わる活動を通して、家庭における家族のことや自分でできることなどについて考えることができ、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かり、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようとする。

(9) 自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分のことや支えてくれた人々について考えることができ、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かるとともに、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとする。

本単元は、児童が家庭で話を聞いたり家庭の仕事を自分で経験したりすることを通して、家庭生活を支える家族のよさに気づき、家庭での楽しみや家族のためにできることを考えることができる。また、自信をもって役割を果たすことができるようになることで、自分の成長や家族の喜びに気づき、感謝の気持ちを持ち、意欲的に生活しようとするのが期待できる単元である。

◇児童観

本学級児童は、入学してから生活科「がっこうだいすき」を中心に、学校生活の1日の流れや場面に応じた行動の仕方等を学習してきた。その中で次第に学校の施設の様子や、学校を支えている人々や友達のことなどが分かり、規則正しく、楽しく安全に遊んだり生活したりすることができるようになってきた。ピア・サポート活動(ピア=仲間, サポート=助け合い)での6年生との関わりの中では、一つ一つ丁寧に教えてもらって掃除や給食当番が少しずつスムーズにできるようになり、学校での自分の役割が意識できるようになってきた。しかし、多くの児童が、当番や係など決められた役割を果たすのみの段階にとどまり、決められてはいないが、学級全体に関わる仕事を自ら進んで行ったり、自分にもできることはないかと考えて行動したりする姿はあまり見られない。

本単元に関わる事前アンケートの結果は、次の通りである。

内 容	肯定的評価
① じぶんで できることは、じぶんで しています。	80%
② なつやすみに ちょうせんした おてつだいを つづけています。	57%
③ なつやすみにちょうせんした おてつだいの ほかに つづけてい る おてつだいが あります。	61%
④ これから いえで ちょうせんしてみたい ことが あります。	84%

アンケートの結果から、自分でできることは自分でしているという意識の児童が多い。しかし、夏休みに挑戦したお手伝いを現在も続けて行っているという児童は多くない。また、毎日自分の役割があり、それを果たしているという児童も多くない。しかし、これから挑戦してみたい仕事があるという児童は多い。

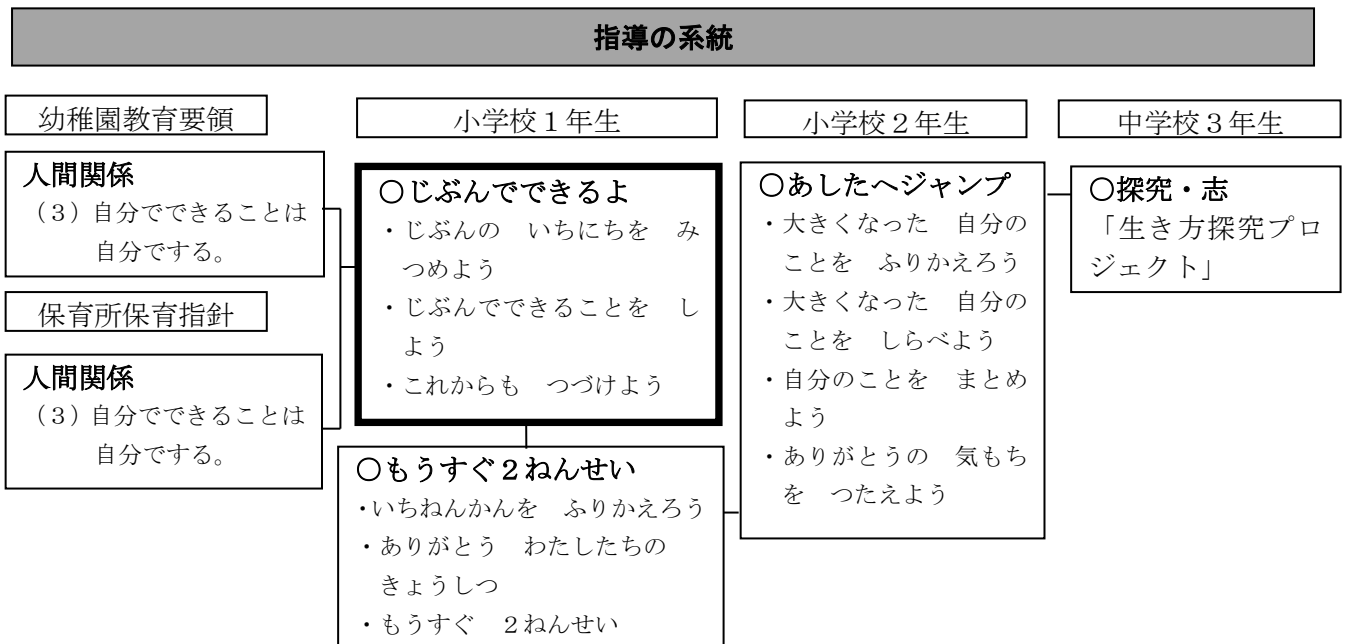
◇指導観

指導に当たっては、パフォーマンス課題として、自分ができるようになることが増えることで家族を笑顔にしていこうという「みんながにこにこ ステップアップ大きくせん」を設定した。この課題に取り組む中で、家庭生活への児童の気付きが深まるよう、家庭での仕事を継続的に行った後、感じたことを友達と交流する活動を小单元ごとに仕組んでいく。体験活動と表現活動を繰り返すことで、自分の生活や役割を見つめる機会とし、できるようになったことへの自信や次なる意欲に繋げていきたい。

取り組む活動の内容の難易度にはこだわらず、児童の願いや家族への思いを大切にしながら取り組めるようにしたい。そのために、サポート学年である6年生に、自分たちが今までにしたことがある家庭での仕事や家族への思いなどについて教えてもらう活動を仕組んでいきたい。家族からの励ましや家族の喜びが児童の喜びに効果的に繋がっていくよう、それぞれの家庭の事情に配慮しながら、無理なく取り組めるようにしていきたい。

児童が活動を計画する際は、算数科で学習した時刻の学びを活用し、自分の生活リズムに合った計画を立てることで、規則正しい生活に繋がる計画を作成させたい。

最後は、自分の取組が形として目で見て実感できるように、にこにこシールをため、自分の頑張りや家族への感謝の気持ちを記した「にこにこステップアップメダル」が完成するようにし、活動意欲が持続していくように努める。



本時の学習（7時間目／全12時間）

◇本時の目標

家庭での活動を交流し、家族の一員として、自分や家族が笑顔になるためにさらにできそうなことを考え、表現することができる。

◇学習の流れ

学習活動 児童の反応（・）	指導上の留意点（◇） 配慮を要する児童への支援（◆）	評価規準 (評価方法)
<p>1 前時までの学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族をにこにこ笑顔にするためにおうちで頑張っているよ。 <p>2 めあてを確認する。</p>	<p>◇パフォーマンス課題を確認し、今までの学習を振り返る。</p> <p>◇本時の学習で取り組むことを確認する。</p>	
<p>めあて みんなのえがおのために、できることを かんがえるぞ！</p>		
<p>3 家庭で取り組んだことをグループで交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間割りを一人でやってみたら、できたからうれしかったよ。 ・お風呂掃除ははじめてで、たいへんだったけどお母さんが喜んでくれたよ。 <p>4 全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしも、〇〇くんと同じで洗濯ものたたみに挑戦したよ。 ・ぼくは、お皿洗いはやったことがないからしてみたいな。 ・妹のお世話も家族が笑顔になるね。 <p>5 自分ができそうなことを考え、その思いを家族へ伝えるメッセージを書いて交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いくつか挑戦したいものがあるけど、どれがいちばん嬉しいか家族に聞いてから決めよう。 ・いつも聞かれてから学校であったことを話しているけど、自分から話をしてあげたら嬉しいと思うな。 	<p>◆前時にかいたワークシートをもとにして伝えるよう声かけをする。</p> <p>◇「自分のこと」「助かる」「ほっとする（心が温まる）」という視点でYチャートに整理して板書にする。</p> <p>◇挑戦したいことをいくつか選び、家族と相談して決めてもよいことを確かめる。</p> <p>◆表現することが難しい児童には、挑戦しようと思った理由を聞いたり、黒板に提示した例を参考にさせたりする。</p>	<p>【思】 家族を笑顔にするために、自分ができそうなことを考えている。 (ワークシート・発言)</p>

<p>メッセージの例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お風呂掃除と、洗濯干しでまよっているんだけど、お母さんはどっちが嬉しいかな。教えてね。 ・洗濯たたみに挑戦したいと思っているよ。その間、お母さんは休んでね。 ・ご飯の後、おばあちゃんが喜ぶことをしてあげようと思っているよ。肩たたきと、お茶を入れるのでは、どっちがいいかな。 ・お母さんがご飯を作っている間、弟と遊ぶよ。いつも弟がお母さんにしがみついて大変そうだから、これにしようと思っているよ。 ・夕ご飯の時に、今日あったことをお話するよ。楽しみにしていてね。 ・お父さんとお風呂に入って背中を洗ってあげるね。いつも疲れているからゆっくりしてね。 		
6	次時の学習の見通しをもつ。	<p>◇できるようになると、家族や自分が笑顔になることを確認し、挑戦することへの意欲をもたせる。</p> <p>◇これから挑戦することの、「やり方・する時間」等計画を立てることを伝え、学習の見通しをもたせる。</p>

本時のルーブリック（関連する資質・能力）

思考・判断・表現	
A	家族を笑顔にするために、家族一人一人の生活を思い浮かべて自分ができるようなことを考えている。
B	家族を笑顔にするために、自分ができるようなことを考えている。

【パフォーマンスかだい】

みんながにこにこ ステップアップ 大きくせん！
-ぼく・わたしもできるよ-

1ねんせいになり、おべんきょうや とぅばんなど あたらしいことに たくさん ちょうせんして がんばっている みなさん。なつやすみも まいにち おてつだいをして、かぞくみんなが にこにこえがおに なりましたね。……でも、「なつやすみだけで やめてしまったよ。」 「もっともっと できることがあるよ。」とおもっているみなさん。それではもったいないですね。ぜひ、チャレンジたいに なってやってみましょう！！



板書計画

みんながにこにこステップアップ 大きくせんパート2！-ぼく・わたしもできるよ-

パフォーマンス
かだい

めあて みんなの えがおのために できることを かんがえるぞ！

じかんわり

じぶんのこと

たすかる



できるようになると
じぶんや かぞくが
にこにこえがおになる。

ほっとする

おふろそうじ

かたたたき

せんたくたたみ

おとうとのおせわ

第1学年 生活科 単元構想図 (全12時間)
 「みんながにこにこ ステップアップ大きくせん
 -ぼく・わたしもできるよ-

単元の目標

- 家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、自分の家庭生活を振り返り、家庭生活を支えている家族のことや、家族のよさ、自分でできることなどを見付け、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かり、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活しようとするができるようになる。
- 自分でできるようになったことを振り返る活動を通して、役割が増えたことなどが分かり、これまでの生活を支えてくれた家族に感謝の気持ちをもつとともに、意欲的に生活することができるようにする。

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、家庭での生活は互いに支え合っていることに気付いている。	○家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、家庭における家族のことや自分でできることなどを考えている。	○家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようとしている。
○自分でできるようになったことを振り返る活動を通して、成長した自分に気付いている。	○自分でできるようになったことを振り返る活動を通して、自分のことや支えてくれている家族について考えている。	○自分でできるようになったことを振り返る活動を通して、これまでの生活や成長を支えてくれた家族に感謝の気持ちをもって意欲的に生活しようとしている。

小単元のゴールに対するルーブリック

単元のゴール

チャレンジ隊になって、自分や家族をにこにこ笑顔にするために家庭でできそうなことに挑戦し、できるようになったことをこれからも続けよう。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	・家庭にはたくさんの役割があることに気付いている。 ・夏休みにできるようになった自分に気付いている。	・家庭生活を思い起こし、家族のことや自分の行動について想起し、表現している。	・家庭生活について、家族のためという願いをもって振り返ろうとしている。
2	・自分でできることが増える喜びや家庭での自分の役割、家族と交流することのよさや楽しさに気付いている。 ・チャレンジ期間中にできるようになった自分に気付いている。	・家族の存在や役割、家族が喜ぶことを意識して、自分でできそうなことを考えている。	・家族が笑顔になってほしいという願いをもち、進んで取り組もうとしている。
3	・家族の大切さや家族が支え合っていることに気付いている。 ・自分の役割が増え、役割を果たすことができるようになったことに気付いている。	・これからも自分の役割を意識して、続けていきたいことを考えている。 ・さらに家族が笑顔になる活動を考え続けている。	・できるようになったことを今後も続けようとしている。 ・これまで家族にしてもらったことに感謝している。

他教科等及びSDGsとの関連

国語科「ききたいな、ともだちのはなし」、「しらせたいな、見せたいな」
 道徳 勤労・公共の精神「ぼくのしごと」、感謝「みんなだれかに」
 〈SDGs〉「17 パートナリーシップで目標を達成する」



日常へ

○家族を笑顔にできる自分に気付き、自分の役割を果たしながら生活する。

- ・大きくせんで、マスターしたお手伝いを続けているよ。
- ・新しくできそうなことを、見付けて挑戦しているよ。



- ・自分ができるようになったことを、続けることで家族のにこにこ笑顔が続くよ。
- ・家族のためになることをいつもしてくれていたことが分かったよ。
- ・これからは、ぼく・わたしもできるから安心して任せてね。

3 これからのにこにこせいこ

- ① できるようになったことを6年生に報告する。
- ② 自分も家族も笑顔になり、パフォーマンス課題が達成でき、これからも続けようという思いを込めてにこにこメダルを完成させる。(メダルに、頑張りや家族への感謝の気持ちを記す。)
 (①報告会→②個人思考)：☑️発言

- ・できるようになったことを6年生に報告するとほめてもらえて嬉しかったよ。
- ・家族がにこにこ笑顔になったから、わたしも嬉しくて笑顔になったよ。だからこれからも続けていきたいな。

2 みんながにこにこ大きくせん

- ① 自分や家族が笑顔になりそうなことを考える。⇒家庭で相談
- ② 計画を立てる。(これから挑戦することの「やり方・する時間」を考える。)
 〈家庭で1週間実行する〉家族から、仕事のコツを教わったり感想を伝えてもらったりする。
- ③ 家庭で取り組んだことについて、気付いたことやできたときの気持ち、家族の反応を振り返る。
- ④ 振り返ったことを交流し、次にできそうなことを考える。(本時1/12) ⇒家庭で相談
 〈家庭で1週間実行する〉家族から、仕事のコツを教わったり感想を伝えてもらったりする。
- ⑤ 家庭で取り組んだことについて、気付いたことやできたときの気持ち、家族の反応を振り返る。
- ⑥ 振り返ったことを交流し、今後の生活の仕方について考える。
- ⑦ 6年生に自分ができるようになったことや継続したい気持ち等を報告カードに表現する。
 (①個人思考→②体験→③個人思考→④グループ活動→⑤個人思考→⑥体験→⑦個人思考)
 :☑️ワークシート、発言

- ・ぼくが、弟のお世話をしたらお母さんはその間料理ができるから助かるかな。
- ・自分で時間割や持ち物を確認することができるようになったらお父さんが喜んでくれたよ。
- ・〇〇くんがやっていた「かたたたき」、わたしのお母さんも喜んでくれそうだからやってみたいな。
- ・アドバイスをしてくれた6年生にできるようになったことを知らせたいな。

1 にこにこさがそう

- ① 自分の1日の生活を振り返る。
- ② 家族の1日の生活を振り返る。自分の生活と比べ、家族の大変さに気付く。パフォーマンス課題をつくる。
- ③ 6年生に家庭生活に関わる経験をインタビューする。
 (①個人思考→②調べる活動)：☑️ワークシート

- ・家族の1日を振り返って、自分と比べるとたくさん自分たちのためにしてくれていることがあるな。
- ・夏休みに毎日お手伝いに挑戦して、家族が喜んでくれていたのに、やめてしまったからまたやってみようかな。
- ・6年生はいろんなことができているのかな。家では、どんなことをしているのかな、聞いてみたいな。



日常から

○夏休みの生活(お手伝い活動)を振り返る

- ・お母さんと一緒に朝ごはんを作ったよ。
- ・毎日、あさがおに、水をあげたよ。
- ・毎日洗濯たたみをしてたけど、今はやめてしまったよ。



対象(家族)
自分

